

処遇改善に取り組む企業が評価される仕組み について

問題意識

- 建設企業が**技能者の処遇改善**に積極的に取り組んでいても、外部からはその**取組状況が見えづらい**ことから評価されず、また、**競争上は不利になるおそれ**もある。
- 技能者を大切にする企業の取組を可視化**し、その**評価を向上**させ、**受注機会の確保**等につなげることが必要。また、**今般の担い手3法の改正を契機に、サプライチェーン全体で建設技能者の処遇改善に取り組むマインドを広げていく**ことが重要。



取組内容

- 発注者、元請、下請**の各企業は、**改正建設業法に定められた労務費確保・賃金行き渡りのための取組**を行うこと等を宣言。
 - **労務費、材料費等の内訳を明示した見積書を作成**すること
 - 受け取った**見積書の内容を考慮・尊重**すること
 - 労働者の能力についての**公正な評価に基づく適正な賃金を支払う**こと 等
- 宣言企業は、ロゴマークを使用可能とし、企業一覧をHPで公表。また、宣言企業に対して、表彰等での加点などのインセンティブを検討。

参考資料(資料2－5関係)

「ホワイト物流」推進運動とは

- 深刻化が続くトラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的として、①トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化、②女性や高齢ドライバー等も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現に向けた取組を推進。
- 平成30年度から実施し、令和6年11月末時点で**2,991社**（物流事業者：1,737社、荷主企業：1,254社）が賛同し、自主行動宣言を提出済み。

